

平成30年度 佐久長聖中学校 学校評価表

学校教育方針	中・長期的目標	今年度の重点目標
1. 礼節を重んじ、忍耐強く、誠実な人材の育成を図る。 2. 一人ひとりの個性を尊重し、授業・クラブ活動・館(寮)生活を通して、豊かな教養、感性、心身の健康を身につける。	1. 積極的、自主的な態度を養う。 2. 希望進路の実現をめざす。 3. 教職員の指導力を高める。 4. 校外から理解・支援される教育活動を展開する。	1. 生徒の様々な意欲をより高めることのできる学校づくり ・学習・生活・課外活動・館などすべての分野で、指導方法を模索し、質を高める ・生徒との前向きな対話のある生活指導・学級運営を行う。 2. 生徒の安全と安心の確保 3. 「6年一貫教育」の意義の再確認・再構築

評 価	A	十分
	B	概ね十分
	C	やや不十分
	D	不十分
	E	評価できない

評価①：各自の取り組みについての自己評価 評価②：本校全体や各部署についての 本校教職員としての評価

分野	評価項目	評価の観点	評価①	評価②	成果（具体的に何ができたか）	今後やるべきこと、実施に当たっての問題点
学 習 指 導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を踏まえて授業の方法を工夫・改善して、生徒の学ぶ意欲を喚起しているか。				
	教科指導力の向上	2 研究授業のほかに教員相互の授業参観や相互批評をしているか。アクティブラーニングの手法を試みているか。				
		3 各種の模試・検定などの客観的データを教科会や各自で分析し、生徒の学力に応じた授業を行っているか。				
	学習習慣の確立と自主的な学びへの導き	4 (学級担任として) 生徒の学習状況・学習時間を把握し、面接によって個々に即した適切な助言をしているか。				
		5 (教科担当として) 学力や時期に応じて質的・量的に適切な課題を出して、日々の学習や計画的学習を促しているか。				
		6 生徒が自主的に取り組んだり探求したりする力をつけるための課題や学びの機会を、工夫して提供しているか。				
	進路指導	希望進路の実現	7 学級担任・教科担当として6年間を見通した指導をしているか。学年会・教科会がそのために機能しているか。			
新しい時代を展望できる進路指導	8 社会への視野を広げ、自分の人生の目標を考える機会としてのキャリア教育を、計画し、実施しているか。					
生 活 指 導	自律的生活の育成	9 服装・挨拶など生徒の自律的取り組みを促しているか。モラルや思いやりにつながる、心の指導をしているか。				
	生徒相談といじめの発見・対処	10 担任・学年・部活顧問・館職員・生徒指導係が連携を取りながら、適切に生徒相談に当たっているか。				
		11 現在の「いじめ」の定義(注)に基づいていじめを認知し、職員間で情報を共有して適切に対応しているか。				
	安心・安全を守る指導、安全を考えたさせる指導	12 校内の安全点検や日常の目配りを重視し、事故や危険を防止できているか。				
		13 校外での交通安全や防犯(インターネットによるトラブルの回避も含む)についての指導をしているか。				
開 か れ た 学 校	開かれた学校づくり	14 保護者や地域の方の意見・要望をくみとり、必要なことには、すばやく、的確に対応しているか。				
		15 電子媒体や紙媒体を通して、各種の情報を生徒・保護者や一般に向けて、定期的に提供しているか。				
		16 地域の方や校外の団体等と交流できる機会を、生徒に提供しているか。学校として交流に寄与しているか。				

(注) 一定の人的関係がある生徒の中で、一方が他方に心理的・物理的な影響を与える行為をして、対象となった生徒が心身の苦痛を感じていること。一時的なものや謝罪して解決したものも、「いじめであった」と考える。